



秋厚労ニュース

NO1870号

2018年10月1日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

発言に共感の拍手

秋厚労 定期大会

去る9月22日（土）、秋田温泉「さとみ」にて、秋厚労第71回定期大会を開催し、134名が参加しました。活動に参加した人からの発言、支部・専門部の報告、定年退職者から一言、グループ討議など、一人一人が思いを発信した大会になりました。



グループ討議

年齢・職種越えて成果と課題を共有

大会の日程は、1泊1日で行いました。議案は1日ですべて論議・採択し、懇親会・宿泊は都合のつく人のみ。来年の大会は今大会を総括して日程を決めます。

医師不足の問題は

どの地域でも起る

鹿角の医療と福祉を考える市民市民の会の集會に参加した人からは、「精神科、産婦人科の医師不足は鹿角だけに限らず、どの地域でも起こりうる問題と感じた。多くの住民は現状を知

らないので、知らせることが大切だと思った」と発言がありました。

女性集會については、秋田県助産師会の実演を見て、「小学校1年生の娘が『どうしたらなれるの』と赤ちゃんをとりあげる仕事に興味をもった」など感想が活き活きと話されました。

支部からは、「組合員の慶弔金について、結婚、出産などが多いと支部財政の出費も多くなるのが悩

み」「病院駐車場について支部交渉を継続している」などが報告されました。

若い時に座り込み

定年退職者への感謝コーナーでは、「若い時に病院の玄関前で座り込みをした」「キャンプに子どもと一緒に参加した」「ボーナスが9割支給になって良かった」「若い人に頑張ってもらいたい。ありがたうございました」など思い出や感謝の気持ちを話しました。

地域住民のために仕事をしたい

グループ討議では、20班に分かれて、職場や労働組合の活動・大会の議案について意見交換をしました。各班からは、「職場で話し合い連休を取得できた」と明るい話題の一方で、「慢性的な人手不足」「時間外手当を請求しにくい」「パワハラがある」と問題も出されました。

さらに、「病院経営優先ではなく、地域住民のために仕事したい」と力強い発言もあり、参加者は大きな拍手を送りました。

支部の悩みも全体で相談する

執行部のまとめでは、「支部や組合員が困っていることとは、全体で相談して良い方向に進めたい」旨が話され、2018年度方針案などが賛成多数で採択されました。

した。大会では、発言の後に共感の拍手が会場を包み込みました。年齢、職種を越えて一人一人が思いを発信し、1年間の成果と課題を共有しました。

感想アンケートより

活動している人の意見は新鮮

- ☆ 活動に参加している人の意見は新鮮でした
- ☆ それぞれの職種の方の意見や考え方を共有することができた
- ☆ 大会日程が1日なので参加しやすかった
- ☆ 大会日程が1日なので朝早く来なければいけないのでつらい